



2008～2009年度RI会長 李東建



東京赤坂ロータリークラブ

No.1024 / 2008.11.28

例会 / 毎週金曜日12:30

例会場 / ANAインターコンチネンタルホテル東京
Tel 03-3505-1111

事務局 / 〒107-0052東京都港区赤坂2-19-8

赤坂2丁目アネックス3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

akasaka-rotary@w8.dion.ne.jp

http://www.k5.dion.ne.jp/~akasaka

Weekly Report

東京赤坂ロータリークラブ週報

「夢にむかって、楽しくロータリー」

2008～2009年度・東京赤坂ロータリークラブテーマ / 村山公士 会長

●本日の例会／

2008年11月28日 第1048回 例会

卓 話：『私の相撲人生』

元関脇 若秩父関 加藤 高明 氏

— ●先週報告／2008年11月21日 第1047回 例会 —

フォーラムタイトル：『100%出席例会フォーラム』

社会奉仕委員会：(橋本委員長)

12月17日(水)忘年家族会開催の日にチャリティーバザーを行います。皆様の寄贈をお待ちしております。寄贈品の搬入は12月5日(金)、12月12日(金)の両日です。よろしくお願いたします。

ロータリー財団委員会：(松永委員長)

11月はロータリー財団強調月間です。全員100ドル(1万円)寄付にご協力をお願いします。

出席報告：(順不同・敬称略)

会員54名/出席36名・欠席18名(出席規定免除者6名)
ゲ ス ト / プティエ・クリスティアン 計1名
ビジター / 相沢英之(東京RC)、和田剛二(東京南RC)、遠藤久介(東京恵比寿RC)、米倉健司(豊島東) 計4名



11月21日

9件 19,000円 / 本年度累計564,000円
多額のご寄付をありがとうございました。(敬称略)

村山公士 / 本日の100%例会フォーラム、皆様どうぞよろしくお願いたします。清水寛 / 皆様、本日のフォーラムは例会後、短い時間ですので全員ご出席ください。小原健 / いつも、こんなに賑やかになりますように！入沢頼二 / 今日はいいつもより賑やかな感じです。庄司泰典 / 入沢さん、ご苦労様です。荒木昭文 / 只今、金澤から帰京しました。金澤はみぞれまじりの雷雨です。東京は暖かくほっとします。コンシニ / お久しぶりです。皆様の笑顔を見て、うれしく思います。吉岡琢磨 / 岩上さん、留学生ご苦労様です。庄司さん、葉有りがとうございます。金澤磐夫 / 欠席がちでしたので本日は何とか頑張って出席しました。

第1回 クラブフォーラム

日 時 2008年11月21日(金) 例会後 13:10 ~ 14:00

場 所 ANA インターコンチネンタルホテル東京
37F「シリウス」

テーマ 「100%例会」

1. 開会挨拶

司会: 清水幹事

2. 会長挨拶

村山会長

お忙しい中、大勢の皆さんにお集まりいただきましてまことにありがとうございます。予想以上の参加で、やってよかったとつくづく感じております。

本年度のテーマは「夢にむかって、楽しくロータリー」です。このために例会を活気あるものにしなければならぬと考えました。9月のガバナー補佐公式訪問の協議会ではこのことをテーマに議論していただきました。素晴らしい協議会が出来たと思って感謝しております。

この協議会で、いろいろな意見とともに今回のテーマである100%例会の話が出ました。逆効果になるかもしれない、ぜんぜん来なかったらどうしよう、など、心配もありました。しかし、今年はおそらくやってみようです。先にやる事が決まり、その後で日程を決めることになったのですが、卓話の日程もほとんど決まっており、たまたまフォーラムを予定していた今日に行くことになった次第です。

また、フォーラムの議題もこれに関連付けてということで検討しましたが、最終的には余り硬くならないようにしようということになりました。近況を報告してもらう、例会に関する意見などを述べてもらうなど、気楽な話し合いの場にしたいと考えております。

100%例会をすることにしたきっかけの一つに、例会の出席率の悪さが最近目立ってきたこともあります。最近では70%にまで下がってしまうこともあります。これまでは予想もしたことがないよ



うな数値です。出席が少ないということは、会員同士が接する機会が減ることになり、親睦の機会が少なくなります。やはり活性化が損なわれることになると思います。ロータリーの原点に帰り、会員同士が交流し、親睦することが何よりもロータリーの基本に近づくのではないのでしょうか。

今回このイベント実行するに際して、私も結構電話やメールをしました。なかなか電話にも出たがらないと聞いていたのですが、私の場合は結構電話にも出ていただき、親しく話をさせていただくことが出来ました。今まで少し遠慮気味だったかなと思いました。やはり積極的な声がけも大事だなと感じた次第です。

今日はともかく難しいことはいわずに、懐かしいことや自分の日頃考えていることを忌憚無く話し合っていたいただきたいと思います。これをきっかけに、次から気楽に例会に出席できるようになればありがたいと思います。

3. ロータリーの原点

大日方会員

ロータリークラブは、1905年 2月23日シカゴのポールハリスの法律事務所に 4人の友人が集まったことから始まりました。1905年というのは第 1次大戦の前、アメリカが統一されて 40 年しか経っていない時代で、人々は必死に生きていました。弱肉強食、シカゴの町は殺伐としていました。そこに 1業種 1人、民族、宗教、信条で差別しない、2週間に 1度集まって友情 (friendship) を深めるという会が生まれたのです。

いろんな職業の人が集まるのですから、職業を通じての互惠取引ができます。友情を深め、仕事を通じて助け合う、これがシカゴの経営者や自営の人達に受け入れられて、ロータリークラブは急速に大きくなりました。

やがて会員の利益を考えるだけの内向きの活動は見直されて、地域貢献や開かれた公正 (fair) な取引という職業倫理が問われるようになり、クラブは発展していくのですが、今、日本は 100 年に 1度とも言われる経済的な破綻、社会的な混乱が起きつつあります。ロータリークラブが誕生した時代に戻るといことです。

この混乱の時代に、私(達)が一番必要としているのは、仕事を通じての交流、助け合いではないのでしょうか。もっとお互いの仕事を知る、職場を訪問しあったり、仕事について語り合えば、困難に直面している人の力になれることがあるかもしれない。

力になれたら、力になった人も力をもらった人も、ロータリークラブに入っていてよかったと思ってくれます。

いろんないきさつがあって、われわれは職業を通じたお付き合いに消極的になっています。互惠取引という言葉は禁句になっていますが、お互い職業人として必死に生きているのですから、仕事について語り合うことがなければ、親睦 (friendship) と言ってもなんとなくむなし感じがしませんか。(大日方記)

4. ディスカッション

① 100%出席が 20 年以上つづいている吉田(用) 会員より、それぞれ時間単価の高い経営者が時間を使ってロータリークラブの例会に出席するのは、会社にとってどういう意味があるのか、と言えば疑問である。だいたい前うなぎやさんの山田さんと



いう会員が多店舗展開した後、随分苦勞なさっていたのだから気がつかなかった。この方は亡くなったが、一緒にいながら本音の話が出来なかったと残念に思う、という話があった。

② 出席免除を適用されている二宮会員から、声を掛けられれば体調がよければ出席している。昔は職業の話をしてよいのだろうかと考えた事もあった。1業種 1人の時代で業種を代表しているのに自分の会社や仕事のことを話してよいのか?と思っていた。今は自分の職業を話し合うよい機会かもしれない。

③ 柴本さんからは、ロータリー歴 26 年だが、九州で新しい仕事をアサインされ、どうしようかという時に、会社からロータリーに入れ!といわれ入会した。そこで色々な業種のその地のトップと知り合うためであった。そこでは出席率を示していたが赤坂ではどうだろう?との発言

④ 平田会員から、世の中今不況だが弁護士は不況に強い職業で助かります。確かに出席率は公開して、ケースによっては退会を勧告するというようなことがあっても良いかもしれない。

⑤ 竹本会員から、業界(広告)は今非情に厳しい状態で、最近では例会の欠席も多いが、生き残っていくために何を、というとき社員からは『何がロータリー?ロータリーは何をしてくれる?』という厳しい状態。ロータリーで会社と会社の付き合いは出来ないのか?という疑問はある、お互いにバックアップしたい、と発言あり。

⑥ 親睦委員長尾上会員からは、会社がしっかりしないと駄目なので自分がいなくても会社は動く、という状態にして例会に参加しているが、会社が大変な時はロータリーより会社仕事を優先させている、との発言。

以上が個別ディスカッションの発言であるが、厳しい状況のときだけにお互いの仕事:業務を促進させていくのにロータリーの仲間同士で出来ることをする、ということが見直される時期かもしれない。

5. まとめ・閉会挨拶

吉岡副会長

厳しい社会状況の中でこそロータリーでありたい。今日は 100%例会の名前で参加者が多かったがこれからも健康には注意してロータリーに参加してください、と締めくくられた。



●次週予告／

2008年12月5日 第1049回 例会

卓 話：『21世紀型留学事情』

留学図書館 代表 平川 理恵 氏